

壁 面 タ イ ル の 試 作

窯業指導所

工 芸 部 鷲野谷 昇 大津 好満
安藤 康生

1. 緒 言

装飾陶器の試作研究の一環として、壁面タイル試作研究を実施した。

壁面タイルについては毎年各所から笠間焼でと要望があるが、壁面全体にタイルを張ると経費が高くなるので、今回、タイルを壁面の一部分を張るデザイン構成とし、壁面タイルの経費の軽減を図り、又笠間粘土の持つ土味を生かした壁面タイルの試作研究を目的とした。

2. 内 容

2.1 壁面タイルのテーマ “のびゆく茨城”をデザイン化した。

2.2 粘土および成形方法 地場の笠間粘土を使用し、圧延機(セラローラ)によりタタラ状に圧延した陶板を5種類のデザインされた型板によりカットして成形した。

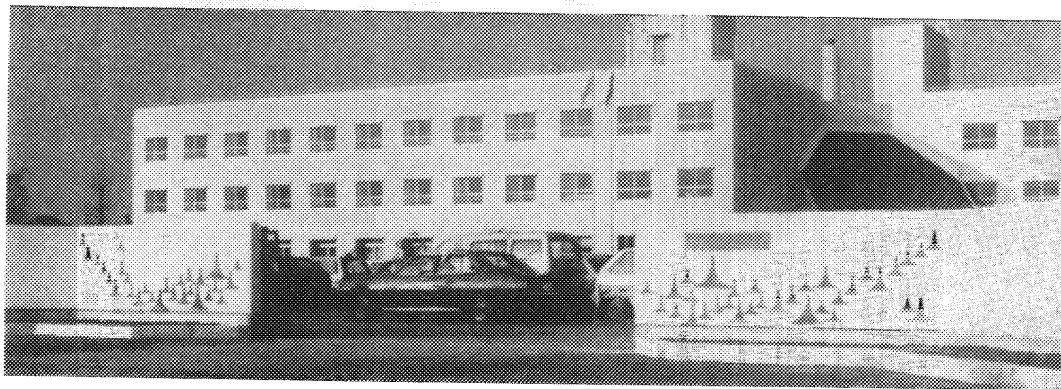
2.3 粘薬および施釉 白およびブルーのマット釉が効果が上げることが出来た。

2.4 焼成炉および焼成温度 30kw 電気炉, 1250 酸化焼成。

2.5 構 成 5種類のタイルで構成した壁面タイルとした。

3. 結 言

壁面タイルとして部分張でもデザインおよび構成を考えれば良好な壁面構成が出来る。又土味を生かした、白およびブルーのマット釉が上げることが出来た。



茨城県自治研修所正門壁面に使用した壁面タイル